

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 60092928 A

(43) Date of publication of application: 24.05.85

(51) Int. Cl.

B60K 15/02
B62J 35/00
// B65D 1/00

(21) Application number: 58200002

(22) Date of filing: 27.10.83

(71) Applicant: YAMAHA MOTOR CO LTD

(72) Inventor: TAKIMOTO HIROSHI
MATSUURA TATSUYA

(54) FUEL TANK MADE OF SYNTHETIC RESIN

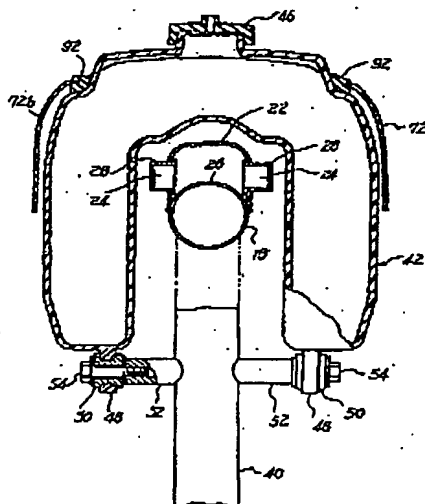
the tank 42 is prevented.

(57) Abstract

COPYRIGHT: (C)1985,JPO&Japio

PURPOSE: To prevent the deformation of a fuel tank by forming a plurality of convex stripes having a nearly wave-form section which nearly cross with the longitudinal direction onto at least the upper surface of the tank, thus permitting the expansion and contraction of the tank.

CONSTITUTION: A fuel tank 42 made of synthetic resin which is used for a tricycle for rough-road traveling is installed so as to ride over a main tube 18 which extends in the longitudinal direction on the frame of the tricycle, and installed onto a pipe 52 integrally formed with a vertical tube 40 through a rubber damper 50 by use of a pair of installation rings 48 which project onto an undersurface. A plurality of convex stripes having a nearly wave-form section are formed in the direction crossing with the longitudinal direction of the tank 42. Therefore, the upper surface of the tank 42 is provided with the expandability in the longitudinal direction, and the expansion and contraction of the fuel tank 42 due to the suction and discharge of fuel are permitted, and the deformation of



⑩ 日本国特許庁 (J P)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A)

昭60-92928

⑬ Int. Cl.

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和60年(1985)5月24日

B 60 K 15/02

7725-3D

B 62 J 35/00

7405-3D

B 65 D 1/00

6727-3E

審査請求 未請求 発明の数 1 (全6頁)

⑮ 発明の名称 合成樹脂製燃料タンク

⑯ 特 願 昭58-200002

⑰ 出 願 昭58(1983)10月27日

⑱ 発 明 者 滝 本 宏 静岡県浜名郡可美村高塚4621-2

⑲ 発 明 者 松 浦 達 也 磐田市西貝塚3450ヤマハ貝塚寮311

⑳ 出 願 人 ヤマハ発動機株式会社 磐田市新貝2500番地

㉑ 代 理 人 弁理士 山田 文雄

明細書の印字(内容に変更なし)
明 細 書

1. 発明の名称

合成樹脂製燃料タンク

2. 特許請求の範囲

少なくとも上面に長手方向にほぼ直交する断面略波形の凹・凸条を形成したことを特徴とする合成樹脂製燃料タンク。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は、樹脂が燃料を吸って膨張することによる変形を防ぐようにした合成樹脂製の燃料タンクに関するものである。

(従来技術)

自動車などにおいては合成樹脂製の燃料タンクが広く用いられているが、このタンクは樹脂自身が燃料を吸みに吸い込み、このため樹脂が徐々に膨張する。この膨張は燃料の吸収量に対応して増減する。タンクではその底部の内側が常に燃料に接触しているのに対し、上部の内側は常時燃料に接触しているわけではない。例えば長期間

タンクを停止している場合などではその上部内側にはほとんど燃料が接触しない。このため燃料の吸収量がタンクの上部と底部で異なり、底部側の膨張量が上面側の膨張量よりも大きくなる。このため特に長細い形状をした一般の自動車用のタンクの場合にはその長手方向にタンク全体が反ることがあつた。

(発明の目的)

本発明はこのような事情に鑑みなされたものであり、合成樹脂製でありながら全体の変形が少ない燃料タンクを提供することを目的とする。

(発明の構成)

本発明はこのためタンクの少なくとも上面に断面が略波状の凹・凸条を、タンクの長手方向にほぼ直交するように形成した。以下図示の実施例に基づき、本発明を詳細に説明する。

(実施例)

第1図は本発明に係る燃料タンクを装着した走行用三輪車の側視図、第2図はそのフレームの側視図、第3図はタンクを一部断面した側視図、